



本郷台小 だより

2月 

横浜市立本郷台小学校
令和6年1月31日
栄区本郷台一丁目6番1号
Tel. 045-893-4010



学校ホームページ：<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>

縁の下の力持ち

副校長 岩田 幸子



学校のあちこちで今、水仙の花がかぐわしい香りとともに可憐に咲いています。1月になって急に茎をのびし、花をつけたその様子はまるで魔法のようです。秋に花ボラさんが球根を植え、土に埋まって見えていなかったものが、今、皆の目を楽しませ、心を和ませてくれています。このように、表立っては見えていない誰かの行為が縁の下の力持ちとして別の誰かの支えになっていると副校長になってみてよく思うようになりました。

先日、日本フィルハーモニー交響楽団の公開リハーサルを見学する機会があり、みなとみらいホールへ行ってきました。通常のコンサートとは全く違って、指揮者や楽団員、ピアニストも普段着で意見をやりとりしたり、楽譜に書き込みをしたりと練習を進めていく様子がとても興味深かったです。特に、本番には絶対に出ない、楽譜を取り換えたり、進行を説明したりする裏方の人が忙しく出入りする姿が印象的でした。本番のコンサートで演奏者が気持ちよく力を発揮できるよう、細かいところまで気を配って働く人がいるからこそ素晴らしい演奏会となり観衆が感動できるのですね。

職員室で仕事をしていると、委員会の児童がカギを借りに来る声で休み時間になったことが分かります。飼育小屋の掃除やウサギのえさやりのために飼育小屋のカギを借りに来る児童、委員会からのお知らせで校内放送をするために放送室のカギを借りに来る児童、図書の本出しを行うために図書室のカギを借りに来る児童などです。休み時間なので遊びたい気持ちもあるでしょうに、学校のみなのために仕事をしているその姿はとても生き生きとして見えます。

1月23日の2時間目は全校でのたてわり活動でした。今回は5年生がリーダーとして活動を進めました。初めてリーダーとして役割を務めた5年生は緊張しながらも自信をもって進め、楽しかったという下級生の感想に嬉しそうにしました。この姿が見られたのも、前の週に6年生から丁寧な引継ぎが行われ、充分な準備がされていたからこそだと思いました。



朝の登校時、通学路の交差点で学援隊の方々が登校の安全を見守ってくださっています。そのお一人の保護者に「朝早くからありがとうございます。」と声をおかけしたところ、「私はこの当番が大好きなのです。子どもたちから元気ももらって、気持ちよく一日のよいスタートが切れるからです。」とのお返事が返ってきました。これは、ボランティア精神そのものだなと思いました。自分の行為が相手に喜ばれ、役に立っていると感じたとき、人は自己有用感や幸福感が高まり前向きなエネルギーが生まれると言われています。台小が温かい笑顔で包まれているのは、このような心豊かな「縁の下の力持ち」がたくさんいるからなのだなと感じます。「誰かのために」は、自分を豊かにするのです。

本日、大谷翔平選手から グローブが3つ届きます！

みんながわくわくしている大谷選手のグローブが、いよいよ本日学校に届くことになりました。本郷台小では、児童全員が大谷選手からのグローブに触れ、キャッチボール等の機会を設けます。野球やスポーツ全般に興味をもったり、外に出て体を動かそうとする気持ちを高めたりできるとよいと考えています。2月1日より6年生から順に各教室にグローブをまわしていきます。全員がグローブに手を通した後は、校長室前の棚に飾りつつ、クラブ活動や休み時間での活用を検討しています。